

## 4 その他

### 4-1 工業技術センター研究開発推進会議

技術革新の急速な進展に対応し、中小企業の技術向上方策に役立てるため、工業技術センターの研究開発の推進を図り、産業界及び学界の密接な連携のもとに、研究開発推進会議を設けている。委員ならびに会議開催は以下のとおりである。

第Ⅶ期委員（任期：平成12年4月～平成14年3月）

区 分	氏 名	所 属	役 職	備 考
産業部門	坂元 昭夫	(社)鹿児島県工業倶楽部	会 長	委員長
	石窪 奈穂美	消費生活アドバイザー		
	塚田 定清	田苑栗源酒造(株)	副社長	
	平野 竹徳	九州キャタリストリサーチ(有)	社 長	
	齋藤 信昭	(株)トヨタ車体研究所	取締役	
	本村 嘉啓	南日汽缶工業(株)	代表取締役社長	
	上田 亨	(株)湧上ミクロ	常務取締役	
	米永 一義	鹿児島ハイテクウッド協会	会 長	
学術部門	幡手 泰雄	鹿児島大学地域共同研究センター	センター長	副委員長
	梅田 晴郎	鹿児島大学教育学部美術科	教 授	
	守田 和夫	鹿児島大学農学部生物環境学科	助教授	
	阿部 美紀子	鹿児島大学理学部生命化学科	教 授	
	早川 勝光	鹿児島大学理学部生命化学科	教 授	
	河野 良弘	鹿児島工業高等専門学校地域共同テクノセンター	センター長	
	長澤 庸二	鹿児島大学工学部情報工学科	教 授	
	古川 恵子	鹿児島女子短期大学生活科学科	教 授	
行政部門	古賀 博三	九州経済産業局産業部技術振興課	課 長	
	安部 英一	産業技術総合研究所九州センター	統括研究員	
	大迫 陽一	(財)かごしま産業支援センター産学官連携推進室	室 長	
	片平 芳美	鹿児島県企画部新技術情報課	課 長	
	福満 義博	鹿児島県商工観光労働部工業振興課	課 長	

#### 第1回推進会議

開催日時：平成13年7月3日(月) 13:15～17:15

開催場所：工業技術センター

会議内容：①平成14年度新規研究課題の説明

②平成14年度新規研究課題及び平成12年度終了研究課題検討会

#### 第2回推進会議

開催日時：平成14年2月26日(火) 13:00～17:00

開催場所：鹿児島東急イン

会議内容：①平成14年度新規研究課題選定の経過報告

②平成14年度終了研究課題の中間報告についての説明

③分科会による平成14年度終了研究課題検討会

④工業技術センターのあり方についての検討会

## 4-2 地域ものづくり対策事業費補助金事業 (中小企業技術開発産学官連携促進事業)

### 4-2-1 高度非破壊センシングシステムの開発

分担テーマ 機械加工部品不良センシング技術に関する研究

#### (1) 推進委員会事業

研究開発事業の企画、調整を行い、円滑な推進を図るために、推進委員会を設けた。委員ならびに会議開催は以下のとおりである。

推進委員 (任期：平成12年4月～平成14年3月) \*国、大学、企業のみを記載

	区 分	氏 名	所 属	役 職 名
全体	外部有識者	太田 公廣	技術総合研究所産学官連携部門	研究コーディネータ
広島市	行政部門	坂上 勝彦	産業技術総合研究所知能システム研究部門	総括研究員
岩手県	産業部門 学術部門 行政部門 "	小原 久志 川又 憲 坂上 勝彦 小見山 耕司	株式会社アオバサイエンス 八戸工業大学 産業技術総合研究所知能システム研究部門 産業技術総合研究所計測標準研究部門電磁波計測科	盛岡営業所長 講 師 総括研究員 電磁界標準研究室室長
秋田県	産業部門 " 学術部門 " 行政部門 "	田村 雅史 玉本 英夫 横山 洋之 坂上 勝彦 小見山 耕司	アキタ電子株式会社 ソフト開発センターIC設計部 秋田大学 秋田大学 産業技術総合研究所知能システム研究部門 産業技術総合研究所計測標準研究部門電磁波計測科	主任技師 教 授 講 師 総括研究員 電磁界標準研究室室長
山形県	産業部門 学術部門 行政部門	後藤 恒義 尾形 健明 小見山 耕司	株式会社山本製作所 山形大学 産業技術総合研究所計測標準研究部門電磁波計測科	統括課長 助教授 電磁界標準研究室室長
鹿児島県	産業部門 学術部門 行政部門 "	荒木 政親 佐藤 公則 坂上 勝彦 小見山 耕司	株式会社溯上ミクロ 鹿児島大学 産業技術総合研究所知能システム研究部門 産業技術総合研究所計測標準研究部門電磁波計測科	精機部部長 助教授 総括研究員 電磁界標準研究室室長
経済産業局	行政部門 " "	明瀬 博毅 加藤 謙二 古賀 博三	中国経済産業局産業部産業技術課 東北経済産業局産業部産業技術課 九州経済産業局産業部技術振興課	課 長 課 長 課 長

#### 推進委員会

開催日時：平成13年9月27日～9月28日

開催場所：男鹿桜島荘 秋田県男鹿市戸賀加茂青砂字中台1-466

内 容：①地域産学官共同研究事業、中核技術開発事業及び応用技術開発事業の進捗状況報告  
②委員からの提案と意見交換

#### (2) 客員研究員受入事業

画像計測、画像処理の専門研究者を延べ5日間招き、画像処理を用いた計測技術の研究支援・指導を受けた。事業実績は以下のとおりである。

氏 名	所 属	内 容	期 間
佐藤 公則	鹿児島大学工学部情報工学科	AOTFを用いた3次元計測技術	1.18～2.22 延べ5日

**(3) その他事業**

中核技術開発事業及び技術支援基盤事業

「2-2-6 電子・情報技術開発研究事業」の1. 機械加工部品不良センシング技術に関する研究に概要を記載した。

**4-2-2 環境・情報技術(IT)に対応した次世代型加工システムの開発**

分担テーマ 高速切削加工における工具挙動の可視化技術の開発

**(1) 推進委員会事業**

中小企業技術開発産学官連携促進事業の円滑な推進を図るために、推進委員会を設けた。委員ならびに会議開催は以下のとおりである。

推進委員 (任期：平成12年4月～平成14年3月)

区分	氏名	所属	役職名
行政部門	野崎 武敏	産業技術総合研究所研究コーディネータ	ものづくり基盤技術支援室長
〃	水原 清司	産業技術総合研究所技術情報部門技術調査室	シニアリサーチャー
〃	古賀 博三	九州経済産業局産業部技術振興課	課長
〃	福満 義博	鹿児島県商工観光労働部工業振興課	課長
〃	水元 弘二	鹿児島県工業技術センター	所長
学術部門	近藤 英二	鹿児島大学	教授
〃	河野 良弘	鹿児島工業高等専門学校	教授
産業部門	大久保 治	株式会社アルバック精機	代表取締役社長

推進委員会

**① 第1回**

開催日時：平成13年11月2日

開催場所：鹿児島県市町村自治会館

内容：各共同研究機関の研究概要発表に対して各委員から活発な質疑、意見交換が行われた。

**② 第2回**

開催日時：平成14年3月19日

開催場所：山口県産業技術センター

内容：平成13年度に行った各共同研究機関の研究内容に対して各委員から活発な質疑、意見交換が行われた。

**(2) 客員研究員受入事業**

研究者を延べ4日間招き、高速度カメラを用いた工具振れ回りの測定技術の研究支援及び技術指導を受けた。事業実績は以下のとおりである。

氏名	所属	内容	期間
河野 良弘	鹿児島工業高等専門学校	・高速度カメラによる回転工具撮影方法 ・高速度カメラによる加工時の撮影方法 ・NC工作機械制御手法AOTFを用いた3次元計測技術	1.30～3.13 延べ5日

**(3) 技術者受入事業**

工具振れ回り測定システムの開発および、平成14年度に予定している応用技術開発事業で試作を円滑に行うために延べ3日間受け入れ、工業技術センターで測定方法や原理について技術移転を行った。事業実績は以下のとおりである。

氏名	所属	内容	期間
山下 成敏	アルバック精機株式会社	高速切削加工における工具挙動の可視化技術の開発	2.7～3.13 延べ3日

**(4) 中核技術開発事業**

高速度シャッターカメラで工具を撮影し、データをパソコンに取り込み、画像処理によって回転時の工具挙動を測定するシステムの開発を行った。事業実績は以下のとおりである。

機 器 名	設置年月日	主 な 仕 様
工具振れ回り測定システム	H13. 10. 31	高速度カメラ DiCAM Pro((株)ナックイメージテクノロジー) 解像度：1280×1024(ピクセル) シャッター速度：最短5ナノ秒 制御用パソコン DELL Precision430 クロック数：1GHZ メモリ：512MB
ツールバラランサ	H13. 10. 31	ホフマンPTB7.2 ((株)大阪工機) 対応ホルダ：BT30およびBT40に対応 繰返し精度：1.0mm以下 最大重量：7kg 最大高さ：275mm

**(5) 技術支援基盤事業**

中核技術開発事業で購入した機器を企業の技術者に開放し、機器の特性や使用法の習得に対する支援を行った。

**4-3 ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業**

「3次元CAD/CAMを用いた製造業の生産工程高度化のための研修プロジェクト」

県内企業へのCAD/CAMの普及と製造工程の改善、設計開発力の向上を目的に3次元CAD/CAM技術研修会を開催した。

**4-3-1 使用実績・成果等**

## 研修-1

技術研修(指導)の日時	6月6日 13:00～17:00 (1日, 4時間)
技術研修(指導)の名称	3次元CAD/CAM技術研修会(講習会)
技術研修(指導)内容の概要	製造業における3次元CAD/CAMの活用方法 3次元CAD/CAMの利用方法について
講師	(株)セイコーインスツルメンツ 山根一成
参加企業数	計12社
参加人数	延べ17人

## 研修-2

技術研修(指導)の日時	6月7日～6月8日 9:30～16:30 (2日, 12時間)
技術研修(指導)の名称	機械加工講座
技術研修(指導)内容の概要	機械加工(切削・研削)における基礎から最新の超精密加工までの加工実技とその周辺技術である測定技術やCAD/CAM技術についての理論及び実技講習を行い、機械金属関連工業に従事している人の技能向上を図った。

講師	鹿児島県工業技術センター 市来浩一, 南 晃, 岩本竜一, 湯之上翼
参加企業数	計 4社
参加人数	延べ 12人

## 研修－3

技術研修（指導）の日時	2月21日 10:00～17:00 2月22日 10:00～16:00 (2日, 13時間)
技術研修（指導）の名称	放電加工研修会
技術研修（指導）内容の概要	放電加工における3次元CAD/CAMの活用方法(2月21日) CamMagicにおける2,3次元自動化機能(2月22日)
講師	三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株) 田中 豊
参加企業数	計 22社
参加人数	延べ 96人

## 研修－4

技術研修（指導）の日時	8月8日 13:30～17:00 (1日, 3時間)
技術研修（指導）の名称	レーザー加工技術講習会
技術研修（指導）内容の概要	炭酸ガスレーザー加工機を利用した仏壇の加工技術について炭酸ガスレーザー加工機を用いて屋久杉製の都会型小型仏壇を試作提案した。 集成材, 合板, ステンレス等の湾曲した部材に, 炭酸ガスレーザー加工機で透かし加工を行う加工技術を説明した。
講師	鹿児島県工業技術センター 恵原 要, 中村寿一
参加企業数	計 1組合
参加人数	延べ 32人

## 研修－5

技術研修（指導）の日時	2月4日～7日, 3月26日～28日 10:00～16:00 (7日, 10時間)
技術研修（指導）の名称	レーザープログラミング研修
技術研修（指導）内容の概要	炭酸ガスレーザー加工機用のNCデータ作成方法の研修を行った。
講師	鹿児島県工業技術センター 中村寿一, 澤崎ひとみ
参加企業数	計 6社
参加人数	11人

## 研修－6

技術研修（指導）の日時	6月21日，6月22日，7月2日～6日，7月9日～10日，8月20日～24日 9月3日，1月21日，1月22日～23日，3月4日～5日，3月6日～7日 9:00～17:00（22日，154時間）
技術研修（指導）の名称	3次元CAD/CAM技術研修会(実習)
技術研修（指導）内容の概要	<p>Windows入門コース CAD/CAMを操作するのに必要なWindowsの基礎知識を習得する。（6月21日）</p> <p>CAD/CAM1日体験コース CAD/CAMを使った加工の流れを実習を通して体験する。（6月22日，9月3日）</p> <p>モデリングコース 3次元CADによるモデル作成の方法を実習する。（7月2日～7月6日）</p> <p>NC加工基礎コース CAMで作成したNCプログラムを活用するための知識を習得する。（7月9日～7月10日，1月21日）</p> <p>加工コース CADデータをもとにしてCAMによるNCプログラム作成の方法を実習する。（8月20日～8月24日）</p> <p>3次元CAD基礎 3次元CADによるモデル作成の基礎知識を実習する。（1月22日～1月23日，3月4日～3月5日）</p> <p>3次元CAD応用 より高度な3次元CADデータ作成法「スケッチ」を実習する。 3次元データから2次元の製図図面を作成する方法を実習する。（3月6日～3月7日）</p>
講師	(株)セイコーインスツルメンツ 山口貴充
参加企業数	<p>Windows入門コース 3社</p> <p>CAD/CAM1日体験コース 5社</p> <p>モデリングコース 8社</p> <p>NC加工基礎コース 7社</p> <p>加工コース 1機関</p> <p>CAD/CAM1日体験コース 4社</p> <p>NC加工基礎コース 1社</p> <p>3次元CAD基礎 1社</p> <p>3次元CAD基礎 3社</p> <p>3次元CAD応用 3社</p>
参加人数	<p>Windows入門コース 3人</p> <p>CAD/CAM1日体験コース 7人</p> <p>モデリングコース 延べ 57人</p> <p>NC加工基礎コース 延べ 15人</p> <p>加工コース 延べ 6人</p> <p>CAD/CAM1日体験コース 5人</p> <p>NC加工基礎コース 延べ 6人</p> <p>3次元CAD基礎 延べ 6人</p> <p>3次元CAD基礎 延べ 6人</p> <p>3次元CAD応用 延べ 6人</p> <p>合計 延べ 117人</p>

## 研修－7

技術研修（指導）の日時	9月13日～10月9日 10:00～15:00 （6日間, 24時間）
技術研修（指導）の名称	3次元CAD利用法（個別指導）
技術研修（指導）内容の概要	3次元CADの操作方法 ・CADデータ作成方法
講師	鹿児島県工業技術センター 南 晃
参加企業数	計 1名（個人）
参加人数	延べ 6人

## 研修－8

技術研修（指導）の日時	11月5日～3月15日 9:00～15:00 （45日間, 270時間）
技術研修（指導）の名称	3次元CAD/CAMによるCADデータ作成と製図図面作成（個別指導）
技術研修（指導）内容の概要	3次元CADの操作方法 ・CADデータ作成方法 ・製図機能の操作方法 ・寸法線, 補助線等の使用方法
講師	鹿児島県工業技術センター 南 晃
参加企業数	計 1名（個人）
参加人数	延べ 45人

## 研修－9

技術研修（指導）の日時	11月29日～1月18日 10:00～16:00 （27日間, 135時間） 2月22日～3月29日 10:00～16:00 （25日間, 125時間）
技術研修（指導）の名称	3次元CAD/CAMを利用した多軸マシニングセンタによる切削加工（個別指導）
技術研修（指導）内容の概要	5軸加工を行うための ・CADデータ作成方法 ・加工プログラム作成 ・ポストプロセッサの設定 ・マシニングセンタを使った5軸加工法 ・加工品質評価
講師	鹿児島県工業技術センター 南 晃
参加企業数	計 1社
参加人数	延べ 104人

## 研修－10

技術研修（指導）の日時	12月14日～1月31日 10:00～15:00 (30日間, 120時間)
技術研修（指導）の名称	3次元CAD操作方法
技術研修（指導）内容の概要	3次元CADの操作方法 ・3次元CADデータ作成方法
講師	鹿児島県工業技術センター 南 晃
参加企業数	計 1名（個人）
参加人数	延べ 30人

## 合 計

	回 数	人 数	稼働日数	稼働時間
技術研修	17	延べ 285	35	196H
技術指導	133	延べ 185	133	674H
合 計	150	延べ 470	168	870H

## 4-3-2 その他

## ① 見学

技術研修（指導）の日時	5月9日 鹿児島県林業振興課 10:00～11:00 5月25日 九州地区工配総会 10:30～10:50 5月25日 JAさつま日置 15:30～16:00 6月1日 鹿児島大学農学部 15:00～15:30
技術研修（指導）の名称	3次元CADシステムの見学
技術研修（指導）内容の概要	機械加工を中心とした分野における3次元CAD/CAMの位置づけや効果について説明するとともに、異業種分野における3次元CAD/CAM利用の可能性を探る。
講師	鹿児島県工業技術センター 南 晃
参加企業数	計 4機関
参加人数	185人

## ② 学生研修

技術研修（指導）の日時	7月18日 10:30～14:00
技術研修（指導）の名称	3次元CAD/CAM技術研修
技術研修（指導）内容の概要	機械加工分野における3次元CAD/CAMを利用した加工工程の流れを実際にCAD/CAMを操作しながら学ぶ。
講師	鹿児島県工業技術センター 南 晃



参加大学数(大学名)	計 1 (鹿児島大学)
参加人数	14人

#### 4-4 科学技術特別研究員事業 (科学技術振興事業団)

科学技術振興事業団が創造豊かな若手研究員を一定期間、科学技術特別研究員として委嘱し、国公立研究機関等に派遣して研究を実施するとともに、学官の研究交流を促進し、我が国の創造的な科学技術の推進を図る。

##### 4-4-1 受け入れ研究の概要

- ①受入研究員名 NURUL TAUFUQU ROCHAMAN (ヌルル タウフィック ロッチャマン), 国籍: インドネシア  
 ②受入開始日 平成13年1月1日から3年以内  
 ③受入担当部 素材開発部  
 ④研究テーマ ライフサイエンスアセスメントを考慮した鉛フリー耐脱亜鉛黄銅合金の開発  
 ⑤研究成果  
 ・含鉛黄銅合金から鉛を効率よく除去する方法を明らかにした。  
 ・耐脱亜鉛効果をもたらす因子を解明した。

#### 4-5 試験研究機関連絡会議の開催

会 の 名 称	開催日	実施場所	内 容	参加機関	人数
平成13年度産業技術連携推進会議繊維部会中国・四国・九州地方部会総会(技術専門委員会を含む)及び全国繊維工業技術協会中国・四国・九州支部会総会(化学・環境部)	7. 5 ～ 6	鹿児島市	1. 産業技術連携推進会議繊維部会中国・四国・九州地方部会総会 1) 部会長挨拶 鳥取県産業技術センター 金田 昭 2) 歓迎挨拶 鹿児島県工業技術センター 水元弘二 3) 議長選出 4) 議事 ①指示連絡事項 ②提案要望の審議 ③報告事項 ④次期部会長の選出 ⑤時期開催県 2. 技術専門委員会 1) 指導事例発表 9件 2) 研究成果発表 4件 3. 全国繊維工業技術協会中国・四国・九州支部会総会 1) 議長選出 2) 議事 ①指示連絡事項 ②平成12年度事業及び決算報告 ③平成13年度事業及び予算計画 ④平成15年度繊維技術交流プラザ開催県について 4. 研修会 1) 本場大島紬織物協同組合 2) 本場大島紬の里 3) 仙巖園	8	17

会 の 名 称	開催日	実施場所	内 容	参加機関	人数
平成13年度産業技術連携推進会議物質工学部会第9回塗装工学分科会 (素材開発部)	9.20 ～21	鹿児島市	1. 全体会議 1) 挨拶 ①鹿児島県工業技術センター所長 ②物質工学部会長 ③塗装工学分科会長 2) 議長選出 3) 議事 ①物質工学部会指示連絡事項 ②国補事業/共同研究テーマについて ③次期分科会長の選出 ④次期開催地について ⑤各機関の現況報告・技術情報交換 ⑥産学官連携や塗装工学分科会のあり方について ⑦その他 2. 研究会 1) 塗装技術研究会 2) 漆工研究会 3. 研究発表 1) 塗装技術研究会員の発表 [3件] 2) 漆工研究会の発表 [3件] 4. 特別講演 1) 「塗装の現状と課題並びに試験研究機関への期待」 (財)日本塗料検査協会 橋本 定明 2) 「漆に関して」「塗料の抱えている問題点」 東京大学名誉教授 熊野谿 徒 5. 全体会議 1) 各研究会報告 2) 塗装工学分科会のあり方について 6. 現地研修 本場大島紬の里	23	32
産業技術連携推進会議物質工学部会第39回高分子分科会 (化学・環境部)	11.5 ～6	国分市	1. 開会・挨拶 1) 鹿児島県工業振興課長 (代理参事) 2) 高分子分科会会長 大阪市立工業研究所 井上 弘 3) 産業技術総合研究所つくばセンター 産学官連携部門研究コーディネータ 佐藤眞士 2. 特別講演 「使い捨てるプラスチックから循環するプラスチックへ」(株)スタイロジヤ パン 代表取締役社長 真辺久始 3. 事例紹介及び話題提供[1] 4件 4. 平成13年度共同研究の検討会 「生分解性プラスチックのフィールドテスト」 5. 事例紹介及び話題提供[2] 3件 6. 協議 1) 中小企業技術開発産学官連携促進事業に係わる研究計画 2) 提案要望事項 7. 工場見学 アルバック九州株式会社鹿児島事業所	36	53

#### 4-6 研究交流推進事業

先端技術などの積極的な取り組みや研究開発能力の強化を図るため、高度な知識技能を有する研究者を招へいし、または先進研究所へ研究員を派遣して、研究機能の充実を図ることを目的とする。

##### 4-6-1 招へい研究

研究者氏名	招へい研究者の所属	研究テーマ	期 間	担当部
井上 明生	独立行政法人森林総合研究所	有機性廃棄物の有効利用に関する研究	2.11～2.12	化学・環境部
目 義雄	独立行政法人物質・材料研究機構	機能性マイクロカプセルに関する研究開発	3.11～3.13	素材開発部

##### 4-6-2 派遣研究

研究者氏名	派遣研究先	研究テーマ	期 間	担当部
上 蘭 剛	岡山県工業技術センター 東京都立産業技術研究所	シラスバルーンを用いた電波吸収体の開発	6.4～6.7 12.17～12.21 2.19～2.22 3.26～3.28	電子部
森園 眞子	九州大学大学院農学研究院	地域木質資源を用いた新規複合材料の開発	11.6～12.5	木材工業部

#### 4-7 職員派遣研修

職員名	研 修 先	研 修 名	期 間
安藤 義則	中小企業大学校東京校 独立行政法人酒類総合研究所	中小企業支援担当者研修課程 バイオテクノロジー	11.14～11.19, 11.20～12.19 12.20～12.21

#### 4-8 委員の委嘱

委 員 名 (委 嘱 内 容)	職 員 名	依 頼 機 関
平成13年度鹿児島県中小企業創造活動促進法認定審査委員会委員	水元 弘二	商工観光労働部
平成13年度中小企業技術開発産学官連携促進事業産学官連携推進委員会委員	水元 弘二	商工観光労働部
鹿児島県伝統的工芸品産業振興対策協議会委員	水元 弘二	商工観光労働部
シラスコンクリート検討委員会委員	水元 弘二	土木部
鹿児島県人材育成センター運営委員会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
創造的中小企業審査委員会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
地域産業活性化委員会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
研究開発審査委員会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
(財)鹿児島県環境技術協会技術顧問	水元 弘二	(財)鹿児島県環境技術協会
鹿児島県新技術開発推進協議会委員	水元 弘二	鹿児島県新技術開発推進協議会
「(社)鹿児島県工業倶楽部産業賞」審査委員長(工業倶楽部10周年記念行事)	水元 弘二	(社)鹿児島県工業倶楽部

委員名(委嘱内容)	職員名	依頼機関
平成13年度新規成長産業連携支援事業に係るモデル地域成功要因分析調査事業委員会委員	水元 弘二	鹿児島県中小企業団体中央会
平成13年度特産品等販路開拓支援事業推進委員会副委員長	水元 弘二	鹿児島県商工会連合会
伝統製法食品認証判定委員	水元 弘二	鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会
屋久杉フェスタ審査委員	水元 弘二	鹿児島県屋久杉事業協同組合
(社)発明協会鹿児島支部常任理事	水元 弘二	(社)発明協会鹿児島支部
(財)日本醤油農林規格検査協会委託検査員	水元 弘二	(財)日本醤油検査協会
全国味噌鑑評会審査員	水元 弘二	(社)全国味噌技術会
エキスパートバンク事業技術指導員	水元 弘二	鹿児島県商工会連合会
かごしま産業支援センター評議会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
錦江湾テクノパーククラブ役員会委員	水元 弘二	錦江湾テクノパーククラブ
鹿児島県創造技術研究開発費補助金審査会	水元 弘二	商工観光労働部
鹿児島県中小経営革新支援事業費補助金審査会委員	水元 弘二	商工観光労働部
鹿児島県農産物加工研究指導センター運営協議会委員	水元 弘二	農政部
鹿児島県本格焼酎技術開発研究システム委員	水元 弘二 間世田春作	鹿児島県本格焼酎技術開発研究システム
日本応用糖質科学会九州支部幹事	水元 弘二 間世田春作	日本応用糖質科学会九州支部
組合活性化情報編集委員	泊 誠	鹿児島県中小企業団体中央会
貸付審査委員会委員	泊 誠	(財)かごしま産業支援センター
木材産業等高度化推進資金合理化計画認定委員	泊 誠	林務水産部
鹿児島県木材産業等高度化推進資金運営協議会委員 鹿児島県農林漁業信用基金連絡協議会委員	泊 誠	林務水産部
特許移転検討委員会委員	泊 誠 伊藤 博雅	(社)発明協会鹿児島県支部
九州地区溶接技術検定委員	清藤 純一 泊 誠	(社)日本溶接協会九州地区溶接技術検定委員会
知的クラスター検討委員会	伊藤 博雅	鹿児島大学地域共同研究センター
日本木材学会九州支部連絡幹事	山之内清竜	日本木材学会九州支部
「平成13年度新ふるさと特産品コンクール」審査員	寺尾 剛	鹿児島県県産品愛用運動推進協議会
第29回鹿児島県身体障害者作品展審査員	寺尾 剛 山角 達也	(社)鹿児島県身体障害者福祉協会
鹿児島県人材育成センターカリキュラム編成委員会委員	寺尾 剛 間世田春作 森田 春美 永吉 弘己	(財)かごしま産業支援センター
「かごしまデザインフェア&コンペ2002」実行委員会委員	恵原 要	(社)鹿児島県工業倶楽部
かごしまデザイン協議会研修委員会副委員長	恵原 要	かごしまデザイン協議会
かごしまデザイン協議会啓発委員会委員長	恵原 要	かごしまデザイン協議会
錦江湾マリンスポーツ大会 in 大隅企画連絡会議委員	恵原 要	企画部

委員名(委嘱内容)	職員名	依頼機関
KWF(かごしまウッドイテック・フォーラム)誌編集委員	恵原 要 山之内清竜 森園 眞子	かごしまウッドイテック・フォーラム
新酒祭実行委員	間世田春作	鹿児島県酒造組合連合会
焼酎粕処理設備の機種選定委員会委員	間世田春作 神野 好孝	川内酒造協同組合
鹿児島県本格焼酎技術研究会運営委員	高峯 和則	鹿児島県本格焼酎技術研究会
第24回本格焼酎鑑評会審査員	高峯 和則	独立行政法人酒類総合研究所
本格焼酎鑑評会の審査員	高峯 和則 亀澤 浩幸	鹿児島県酒造組合連合会
平成13年度公社営畜産事業家畜糞尿処理施設選定委員会専門委員	神野 好孝	(財)鹿児島県地域振興公社
(社)日本化学会九州支部幹事	神野 好孝	(社)日本化学会九州支部
(社)日本セラミックス協会世話人	神野 好孝	(社)日本セラミックス協会
(財)鹿児島県環境技術協会環境技術会議委員	神野 好孝 濱石 和人	(財)鹿児島県環境技術協会
大島紬活性化推進事業推進委員	神野 好孝 恵原 要	丸久織物協同組合
日本エネルギー学会バイオマス部会委員	森田 慎一	(社)日本エネルギー学会
日本木材学会連絡幹事	森田 慎一	日本木材学会
産総研コンソーシアム(新方式圧力センサ)研究推進委員会委員	濱石 和人	(財)九州産業技術センター
シラスコンクリート検討委員会幹事会幹事	濱石 和人	土木部
鹿児島地域コンソーシアム(EPSリサイクル)研究開発委員会委員	濱石 和人 神野 好孝	(財)九州産業技術センター
鹿児島地域コンソーシアム(EPSリサイクル)再生技術分科会委員	濱石 和人 西元 研了	(財)九州産業技術センター
耐候性向上技術開発委員会委員	中村 俊一	(社)日本木材保存協会
産総研コンソーシアム(新方式圧力センサ)分科会委員	吉村 幸雄	(財)九州産業技術センター
(社)日本機械学会九州支部 宮崎・鹿児島地区運営キーマン	森田 春美	(社)日本機械学会九州支部
溶接技術競技会審査委員	森田 春美 瀬戸口正和	(社)日本溶接協会鹿児島県支部
技能検定委員(前期)	森田 春美 恵原 要 西元 研了 市来 浩一 湯之上 翼	鹿児島県職業能力開発協会
技能検定委員(後期)	市来 浩一 湯之上 翼	鹿児島県職業能力開発協会
第48回鹿児島県発明くふう展審査会審査委員	湯之上 翼 中村 寿一 神野 好孝	(社)発明協会鹿児島県支部

委員名(委嘱内容)	職員名	依頼機関
かごしま電子デバイス・フロンティア構想(仮称)検討委員会委員	永吉 弘己	(財)電源地域振興センター
ソフトウェア技術者等養成講座カリキュラム編成委員会	永吉 弘己	(財)かごしま産業支援センター
鹿児島県マルチメディアコンテンツ高度化協議会委員	永吉 弘己	鹿児島県マルチメディアコンテンツ高度化協議会
電気学会パターン認識の応用環境の拡大調査専門委員会委員	仮屋 一昭	電気学会
技術開発研究費補助事業推進協議会委員	仮屋 一昭	中小企業庁
かごしま材品質基準普及促進協議会委員	山角 達也	林務水産部
乾燥材普及促進企画運営委員会委員	山角 達也	林務水産部
奄美産材利用推進協議会委員	山角 達也	林務水産部
木材産業技術実用化促進緊急対策事業「試験調査委員会」委員	福留 重人	(財)日本住宅・木材技術センター

## 4-9 視察・見学者

月	企業・団体名等(主なもの)	視察・見学者数(名)			
		県内	県外	海外	計
4	鹿児島大学工学部機械工学科一行 県内塗装関連業者一行 串木野・日置建築士会一行	55	0	0	55
5	E P S リサイクル研究開発委員会一行 九州地区工業再配置促進連絡協議会一行 さつま日置農業協同組合一行	91	101	0	192
6	鹿児島大学農学部森林管理学科一行 特許庁 他 宮崎県木材利用技術センター	33	11	2	46
7	福岡県大川伝統工芸振興会一行 串良商業高等学校一行 福山高等学校一行	124	15	0	139
8	国土交通省新規採用者一行 薩南工業高校 P T A 一行 鹿児島市保健所食生活改善推進講座一行	112	0	0	112
9	福岡県高田町役場 隼人町公民会連絡協議会一行 輝北町教育委員会一行	38	2	0	40
10	鹿児島市消費生活センター O B 会一行 知覧町教育委員会一行 岐阜地域農林商工事務所	116	2	0	118

月	企業・団体名等（主なもの）	視察・見学者数（名）			
		県内	県外	海外	計
11	山口県産業技術センター 鹿児島大学附属小PTA一行 日韓セラミックス会議参加者一行	143	7	80	230
12	鹿児島県木造住宅推進協議会一行 鶴丸高校一行 東北地方大阪事務所一行	168	7	2	177
1	鹿児島県総合教育センター 曾於農業改良普及センター 大島工業高校教頭	39	3	0	42
2	大隅町民生委員児童委員協議会一行 鹿児島工業高等専門学校電気工学科一行 大崎町文化協会員一行	146	5	0	151
3	国分市役所 大口市議会議員一行 なのはな会一行	53	0	0	53
計		1,118	153	84	1,355

#### 4-10 その他施設利用

施設利用者	人数
日本溶接協会など4団体	210

